

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	城内ライトアップ、紅葉溪庭園の整備などを通じて和歌山城の景観の向上を図ると共に、便所の男女分離化を推進し、観光施設としての受け入れ体制の充実が図れたが、バリアフリー化については、今後、コスト投入が拡大されるものと考えられる。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	<p>国体開催を控え、園路整備等は観光施設としてバリアフリーの観点から必要である。 また、並行して公園施設全域にかかるハード整備が求められる。</p> <p>◇今後の主な整備スケジュール</p> <p>①公園園路の整備:平成24~26年度中 整備工事 ②不明門トイレ:平成25~26年度中 男女分離化に係る解体新築 ③公園内トイレの便益向上:平成25~26年度中 自動洗浄化装置の取付等 ④お庭焼き施設:平成26~27年度中 整備工事、運営開始</p>